

自主防災訓練

10月30日(日)



岩村公民館主催(各部落防災会共催)の自主防災訓練が10月30日(日)開催され、多くの住民が危機感を持って参加。「いざと言う時、自分の命を守るための訓練」に炊き出し班と避難班に分かれて約150名が参加しました。炊き出し班はライフラインの寸断を想定して、薪とかまどでおにぎり・豚汁の準備をし、避難班も大災害で道路・橋が通行不可能の状態を想定して、自転車、徒歩での訓練となりました。

避難訓練に参加して

ねることによって改善策も見つかるでしょう。

包末 岡林 ゆかり

今年から初めての岩村地区での訓練という事で様子が分からないままの参加でした。

参加でした。

当日はあいにくの雨、炊き出しはおむすびと豚汁でした。最初は何かから取り掛かっていいか戸惑いました。でも指示に従っての作業で進めていくことが出来ました。

最近、特に防災のニュースをよく耳にすることが多くなりました。普段からこうしたシミュレーションが大事なことだと思いますし、たくさんの方が参加して頂きたいと思います。回を重ね

金地 島崎 ミヨ

薪でご飯を炊いた経験がないので、わくわくした思いで火を見ていました。ふいてきた、におってきたとテキパキ出すリーダーの指導で、見事おいしいご飯が炊き上がりました。

厨房では各部落の主婦の方々の手際の良さに、岩村にはイザという時にはこんなにも頼りになる人達がいるんだと思いました。



豚汁を運ぶ時は真剣そのものです



3つのかまどと薪でご飯を炊いています